

第1学年東組図画工作科「変身ペラさん旅に出る～やぶいたかたちからうまれたよ～」
実態把握資料

学習指導者 毛利 二実子 ・ 支援員 内田 珠世

1 さぬき力（非認知能力）に関する子供（35名）の実態

授業づくりの重点項目		
<p>社交性</p> <p>さ力</p> <p>思いやり 協調性</p>	<p>目標への情熱</p> <p>ぬ力</p> <p>粘り強さ 忍耐力</p>	<p>自分を信じる力</p> <p>き力</p> <p>回復力 自制心</p>
<p>さ力の自覚度については、三項目とも高い。特に「協調性」の自覚度が高く、「友達の意見を聞こうとしている」と全員が答えた。「友達の意見が自分の意見と違っていても最後まで聞こうとしている」と答えた子供も多く、入学以来、相手意識をもって聞く姿勢を意識して取り組んで来ている結果だと思われる。</p> <p>一方で、「社交性」についての「人と話すことが好き」と答えた子供は他の項目に比べて少なく、自分の考えに自信がもてず、伝えることができない子供がいることが伺える。</p>	<p>「目標への情熱」の自覚度が高い。特に「授業の中で新しいことを知るのを楽しんでいる」「新しいことに挑戦するのは好き」の項目の値が高い。小学校生活の様々な初めてのことに前向きに取り組んでいる子供が多いという姿から考えても妥当な結果だと考える。</p> <p>「粘り強さ」の自覚度が他に比べて低い。特に「失敗を恐れずに行動しようとしている」の質問項目の値が低く、どんな活動に対しても、新しいことへの関心や意欲は高いが、「失敗したくない」と強く感じている子供がいると考えられる。</p>	<p>「自分を信じる力」の自覚度が高い。特に「自分には得意なことがある」と答えた子供は34名であった。得意なことには自信をもって取り組むことができる子供が多い。</p> <p>「自制心」の自覚度は他よりも低く、特に「自分のしななければならないことをきちんと行っている」の項目が少し低い。小学校生活にも慣れ、自分の係や当番活動に責任をもって取り組めるようになったが、できていることがあるにも関わらず、自分はできていない、とネガティブに捉えている子供がいると思われる。</p>

2 教科に関する子供の実態

- ・ 絵を描くことが好き (31名) まあまあ好き (3名) あまり好きではない (1名)
- ・ 絵を描くことが得意 (23名) まあまあ得意 (7名) あまり得意ではない (2名)
- 得意ではない (3名)
- ・ 図工の授業で絵を描くとき、もし描きたいものがなかったらどうするか
 - ①友達と相談 (13名) ②好きな物を描く (7名) ③しばらく考える (5名)
 - ④友達の真似・先生に相談 (各3名) ⑥身の回りのもの・人間を描く (各2名)

3 個別支援が必要な子供の実態

- A児…図工の授業の中で、自分の表したいイメージをすぐにもつことができず、なかなか製作に取りかかれないことが多い。技能は高く、作品を細部まで丁寧に塗って仕上げることができる。
- B児…自分に自信がもてず、自分の考えを伝えることができにくい。見通しをもちづらいため、投げ出しがちな面もあるが、見通しがもてると一生懸命努力することができる。

第1学年東組 図画工作科学習指導案

「変身ペラさん旅に出る～やぶいたかたちからうまれたよ～」



学習指導者 毛利 二実子 ・ 支援員 内田 珠世

1 本題材で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本題材では、まず手などの感覚を働かせて画用紙や新聞紙、包装紙を自由に破いて、偶然できた形を親しみを込め「ペラさん」と命名する。その形に着目し、いろいろな方向に動かして見て、新しい見え方になる面白さを感じ、想像したことから発想し、絵に表していく過程で、「ペラさんをいろいろなものに変身させよう」という課題を設定する。「ペラさん」をいろいろなものに見立て、変身させるために向きを変えたり、裏返したり、描き足したりなど、粘り強さを発揮して試行錯誤し、自分の感覚や行為を通して形を捉えることで、自分のイメージをもつ。また、「何に見えるかな」「三角にとがっているから、恐竜の牙みたい」「なるほど。体を描くと恐竜にもなるんだね。面白いね。」などと友達と交流し、新しい見立てに気付く。そうすることで画一的な見方ではなく、「面白い変身がたくさんできた」と、多様な見方ができることの面白さや新たな発想を得る楽しさを実感するだろう。イメージが広がったと実感した子供たちはさらに、「ペラさん」の周りにも想像を広げたいと考え、「ペラさんをいろいろな世界へ連れて行こう」と新たな課題を設定する。台紙の色やペラさんを置く場所を試したり、周りの様子を描いたり、構想を繰り返すことで、自分のイメージをより豊かにしていく。題材の終わりには、ペラさんが旅に出る世界を想像して物語をつくって紹介し合ったり、友達の作品のよさを見付けたりする時間を設けることで、自分の見方や感じ方が広がるだろう。そして、このように一人一人の子供が発想や構想を繰り返し、つくり、つくりかえ、つくることで主体的に造形活動に向かう姿を目指したい。

2 題材計画と働きかけの概要（本時 3/6）

次	学習の流れ	働きかけ
一	① 紙を破いてペラさんを誕生させよう 手などの感覚を働かせながらいろいろな破り方を試し、複数の「ペラさん」をつくり、1つの「ペラさん」が様々なものに見えることに気づき、様々な変身させたら面白そうという思いをもつ。	見通し 情【ペラさん変身ボード】②～⑥ 補助黒板に前時の学習内容を掲示しておくことで、これまでの学びや本時の活動を確認し、見通しをもったり、自ら課題設定したりすることができるようにする。㊦これまでの学びや本時の活動を確認し、課題を解決しようとしている姿を即時的に教師が称賛する。
	② 先生ペラさんを変身させよう 教師が示した形を基に、全体で見立て遊び「何に変身ゲーム」をすることで、造形的な見方の視点「変身の術」に気付く。面白い形に着目して、「自分ペラさん」を選ぶ。	
	③ 自分ペラさんをいろいろなものに変身させよう 「自分ペラさん」を「お試しタイム」でいろいろなものに見立て、友達との「もっと変身タイム」を通し、多様な見方でイメージを広げ、一人一台 PC に記録する。お気に入りの変身ペラさんを選び、「ペラさん」の周りの様子にもイメージを広げたいという思いをもつ。	
二	④⑤ ペラさんをいろいろな世界へ連れて行こう 「〇〇ペラさん」を「いろいろな世界に連れて行こう」と課題を設定し、どんなところを旅するか想像を広げる。「お試しタイム」で自分のイメージに合う台紙の色を選んで置き方を試し、周りの様子を好きな色や描画材などを選んで描き足す。「もっと変身タイム」で友達と交流し、イメージを広げ、絵に表す。	行動 粘【お試しタイム】【もっと変身タイム】②～⑤ クリアホルダーとホワイトボードマーカーで、何度も試したり、つくりかえたりすることができるようにする。友達と交流する場を設定し、自分のイメージをさらに広げることができるようにする。㊦粘り強くいろいろな見方で試したり、友達との交流で多様な見方に気付いたりしている姿を即時的に教師が称賛する。
	⑥ 1束のペラさんストーリーを紹介し合おう 「ペラさん」ストーリーを想像し、タイトルを考え、作品とともに紹介し合い、自分の見方や感じ方を広げる。	
三		振り返り 信【きらりタイム】①～⑥ 自分が頑張ったか、友達と交流できたかの二点について振り返る場を設定する。㊦イメージが広がったことを実感している姿や次にしたいことを考えている姿を即時的に教師が称賛する。

3 本時の学習

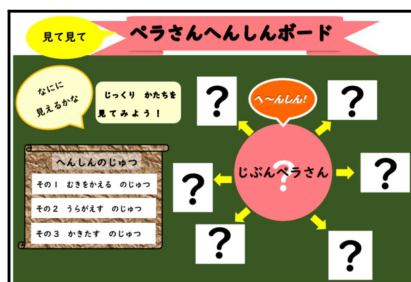
目標	紙を破ってできた「ペラさん」の見方を工夫して見立てたり，交流したりする活動を通してイメージを広げることができる。
----	--

学習活動と働きかけ	主な子供の意識			
見 通 し	1 学習課題を設定する。 【目標への情熱】 【ペラさん変身ボード】	紙を破くのは触った感じや音が気持ちよかったよ。ギザギザの形が面白いペラさんが誕生したよ。	先生ペラさんの変身は面白かったな。「変身の術」を使えば，いろんなものに変身することができたよ。 自分のペラさんも早く変身させたいな。	
自分ペラさんを いろいろなものに 変身させよう				
行 動	2 自分で破いた形の紙を様々な見方で見立て，写真に記録する。 【粘り強さ】 【お試しタイム】	じっくり見ると，三日月みたい。「向きを変えるの術」で横にしてみよう。ひらひらがあるからギョーザにも見えるな。2つ変身させたよ。	三角みたいな形だから，おにぎりみたいに見えるな。富士山でもいいな。「裏返すの術」で見よう。こっちから見るとコマの形だ。3つ変身したよ。	細長い形がバナナに変身だ。「描き足すの術」を使えば，巨人の足にもなったよ。「向きを変えるの術」も合わせて使ってみよう。恐竜の首にして，体を描こう。3つできた。
友達にも見せたいな。みんなのペラさんは何に変身したのかな。				
行 動	3 友達と交流しながら，さらにイメージを広げ，写真に記録する。 【粘り強さ】 【もっと変身タイム】	私のペラさんは何に見えるかな。三日月とギョーザ以外は何かな。 細長い形は確かにバナナに見えるね。私は数字の7に見えたよ。「裏返すの術」で英語のLにも変身するね。	僕のペラさんは何に見えるかな。僕はおにぎり，富士山，コマにしたよ。 ギョーザも面白いね。「向きを変えるの術」で見たら，クラゲにも変身するよ。足を描いたらいいね。	僕のペラさんは何に見える。バナナ，巨人の足，恐竜の首に変身したよ。 三角の形は「恐竜の牙」にしたらどうかな。「向きを変えるの術」と「描き足すの術」で体を描くと恐竜ペラさんになるよ。
なるほど。自分では思い付かない変身が面白いな。友達との「もっと変身タイム」で変身が増えたよ。				
振 り 返 り	4 本時の学習活動を振り返る。 【自分を信じる力】 【きらりタイム】	PC画面を見ると，たくさんの変身ができたなあ。一生懸命，「変身の術」を使っている色々な向きにしたり，何回も描き直したりして，楽しかったよ。面白い変身ペラさんがたくさん思い付いたからにっこりマークだ。	「もっと変身タイム」が面白かったよ。友達にはあまりアドバイスできなかったけど，友達がアドバイスをしてくれたおかげで，変身が増えて面白かったからにっこりマークにしよう。	
お気に入りの変身ペラさんは〇〇ペラさんだよ。でもペラさんだけぼつんというのは寂しそうだよ。次は周りの様子も描きたいな。ペラさんを△△の世界に連れて行ってあげよう。				

評価	自分ペラさんを変身させるために，置き方や見る方向などをいろいろと試したり，友達と交流したりしながら見立てる活動を通して，自分のイメージを広げ，楽しく表現し，自分のイメージを多様に表す喜びを味わっている。 【方法：発言・様相】
----	--

～見通し～ **学習活動1** 情【ペラさん変身ボード】(2～6時間目)

これまでに見つけた「変身の術」と前時の学びを「ペラさん変身ボード」に表すことで、見通しをもち、本時の学習内容を明確にしながら、主体的に取り組むことができるようにする。本時は、「ペラさん変身ボード」を基に前時に学習した先生ペラさんを変身させる面白さを想起させ、自分もやってみたいという思いを高め、「自分ペラさん」がどんなものに変身するかということに興味をもって学習課題を設定することができるようにする。また、前時に先生ペラさんを変身させたことを基に、「自分ペラさん」を変身させてみたいと感じている姿を称賛する。見通しがもちにくいB児に対して、本時の活動内容を個別に確認することで主体的に活動に取り組めるように支援する。



【ペラさん変身ボード】

～行 動～ **学習活動2・3** 粘【お試しタイム】【もっと変身タイム】(2～5時間目)

本題材では試行錯誤を繰り返すことによって自分のイメージを広げることを目指している。そこで、何度でも試せたり、つくりにかえたりしていくことができる「お試しタイム」を設定する。本時は「ペラさん」を挟んだクリアホルダー（お試しシート）とホワイトボードマーカーを使用し、向きを変えるなどし、描いたり消したりしながら、写真で記録することで、子供たちは失敗を恐れず、試行錯誤を繰り返していくことができるだろう。「ペラさん」の形をじっくり見て「変身の術」を何度も試し、粘り強さを発揮してイメージを広げている姿を称賛することで、価値付けを行う。自分のイメージをもちにくいA児に、一緒に「変身の術」を具体的に試しながら、いろいろな見方ができるように助言したり、カメラ操作の支援を行ったりする。

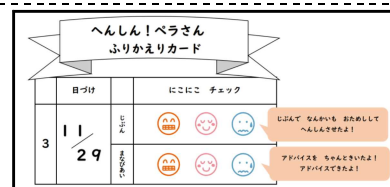


【お試しシート】

また、「もっと変身タイム」では、自分のペラさんをグループの友達に見せ、「みんなは何に見える。僕は〇〇に見えたよ。」と問う。友達と見立て活動を行うことで、さらに多様な見方に触れ、自分のイメージを広げている姿を称賛する。そして友達にアドバイスしてもらった「変身ペラさん」も一人一台PCの学習支援アプリに記録していくことで、自分のイメージの広がりを実感することができるようにしたい。一人一人が手元で確認できるよう、「変身の術」をPC画面で見ることができるようしておく。また、イメージをもちにくい子供に対しては、一緒に「変身の術」を使い、作品を動かして見方を変える助言をする。また、第4・5時でも「お試しタイム」でお試しシートを使って台紙の上に置いて周りの様子を描き込んで試したり、「もっと変身タイム」で友達に見せてアドバイスをもらったし、「変身ペラさん」の周りの世界のイメージを豊かにしていく。

～振り返り～ **学習活動4** 信【きらりタイム】(1～6時間目)

振り返りでは、題材全体を通して、自分の頑張りを「本時の学習課題に一生懸命取り組んだか」、友達との学び合いを「友達の作品を一生懸命見て、アドバイスをしたり、友だちの意見を聞いたりすることができたか」という観点で振り返り、3段階の表情イラストで自己評価する。そしてその理由を問うことで、イメージが広がっていることを実感している姿や次にしたいことを考えている姿を表出させ、「自分を信じる力」を発揮できた姿を称賛し、価値付ける。本時は、PCに記録したそれぞれの変身ペラさんを振り返る時間を設けることでたくさんの変身ペラさんが誕生したことを可視化し、自分のイメージが広がったことを実感できるようにする。また、否定的な振り返りをしている子供には、試行錯誤していた具体的な姿を伝えることで自分の頑張りを感ぜられるようにしたい。振り返りカードの記述に迷っている子供に、今日の頑張りを語らせることで自己評価できるよう、個別に支援する。



【ふりかえりカード】